

もくじ

- ・ かさじぞう

# かさじぞう

げんさく 原作：にほん 日本むかしばなしの昔話

イラスト：ちひろ

へんしゅう 編集：YellowBirdProject



むかしむかし、ある<sup>ところ</sup>所に、おじいさんと  
 おばあさんが<sup>す</sup>住んでいました。二人の家は<sup>ふたり いえ まず</sup>貧しく、  
 明日はもう<sup>あす がんじつ</sup>元日だというのに、おもちを<sup>つく こめ</sup>作る米も  
 ありませんでした。

そこで二人は、家<sup>ふたり いえ</sup>にあった<sup>ざいりょう</sup>材料を<sup>あつ</sup>かき集めて、  
 なんとか『<sup>あ がさ いつ つく</sup>編み笠』を五つ<sup>つく</sup>作りました。

「これを<sup>まち う</sup>町で<sup>こめ さかな か</sup>売って、米と魚を買ってくるよ」  
 「いってらっしゃい、おじいさん」

おじいさんは<sup>あ がさ せ お</sup>編み笠を<sup>ぐつ は</sup>背負い、<sup>は</sup>わら靴を履くと、  
<sup>ゆき つ</sup>雪の積もった<sup>やまみち こ</sup>山道を<sup>まち む</sup>越えて、町へと向かいました。





5

おお まち にぎ  
大みそかの町は、とても賑わいでいました。

「かさー！かさー！編み笠はいらんかねー！」

おじいさんは声を張り上げて、町中を歩き回りましたが、その日編み笠は、一つも売れませんでした。

「はあ・・・年越しの日に、こんなめずらしくもない  
笠を買うものはいないか。何も買わずに帰ったら、  
ばあさんはがっかりするだろうな・・・」

おじいさんは肩を落として、重い足取りで、家に  
帰っていきました。

